

2021年12月2日

佐島電機株式会社と「ESG 経営支援私募債」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型社債商品である「ESG 経営支援ローン（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャルグループの一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の社債商品となります。

本日、佐島電機株式会社（代表取締役 社長執行役員 ^{さとり ひろゆき} 佐島 浩之）は、本商品を発行いたしました。

当社グループは、1947 年の創業以来、開発、設計、製造機能を併せ持つエレクトロニクス商社として、お客様のニーズにお応えするために、最適なソリューション提案、アライアンスパートナーとのコラボレーションにより、様々な技術、商材、サービスをグローバルに展開してまいりました。

当社グループでは、「安全、安心、快適な社会の実現」を目指し、2021 年 7 月に開示しました、中期経営計画 2023 に、サステナビリティ推進を経営の基本方針に追加いたしました。

長期志向を取り入れ、社会課題を起点としたビジネス創造、顧客を通じた事業の拡大を推進していくことで、持続的成長による企業価値の最大化の実現に取り組んでおります。今回の ESG 評価の取得をきっかけに、今後更なる企業価値最大化の取り組みの強化を図ってまいります。

【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

- ✓ 「中期経営計画 2023」に「サステナビリティ推進」を課題として位置付けており、自社事業と SDGs との関連性を踏まえつつ、「長期志向を取り入れ経済価値・社会価値を両立した経営」を通じた「持続的成長の実現」を目指している。
- ✓ 環境面（E）では、中長期の CO2 削減目標として「社内 CO2 排出削減長期指標▲50%」を掲げ、ISO14001 によるマネジメントシステム運用の下、エネルギー消費量や水消費量等の環境負荷を把握し削減に向けて取り組んでいる。
- ✓ 社会面（S）では、社会面の定量目標として「女性リーダー比率長期指標 25%」、「外国人社員比率長期指標 20%」を掲げている。また、自社製品を製造している部門については ISO9001 認証を取得し、品質担保にむけて取り組んでいる。
- ✓ ガバナンス面（G）では、代表取締役を委員長としたコンプライアンス・リスク委員会を設置し、グループのコンプライアンスおよびリスクマネジメント体制の確立、浸透、定着が図られている。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上